



Vol.40 2017年秋号

埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター



忙しの森は冬支度

みんなまた会う日まで



右/センター周辺の森 左上/ヤマガラ 嘴にエサを咥えている
中央/ヒメアカタテハ 中央下/ムラサキシキブ 左下/クロモジ



今年（す）は3月5日が啓蟄の初候、蟄虫啓戸（す）ごもりむしとをひらく）でしたが、9月28日は蟄虫坏戸（むしかくれてとをふさぐ）。巣ごもりする虫たちが土の中にもぐってしまいう頃とされます。そして10月18日は蟋蟀在戸（きりぎりす）とにあり）で、ここで言うキリギリスはコオロギのことで、少しでも暖かい戸口で鳴くようになる頃とされます。なかでも家の中に入ってくるオロギの鳴き声は着物のほころびを繕って冬支度を促しているの聞きなし名前がついたとされます。「肩させ、裾させ、綴れさせ」と聞こえてこないか耳を澄ませてみてください。



イシミカワ
画 堅香子の会

卵から成虫と様々な冬越しのスタイルを持つチョウ。12月には成虫で冬を越すものが折陽だまりで翅を拡げる姿を目にするばかりとなります。

虫の姿が減り野鳥たちのエサはどんどん乏しくなっています。

月はまだ渡りの季節、草木の実りは渡りの途中の野鳥たちにとって貴重な栄養源。移動中の普段目にしない野鳥との出会いも楽しみです。そして多くの野鳥たちは今年の冬を越す場所に落ち着いていきます。

木々は夏から小さな冬芽をつけていましたが、落葉樹は葉を落とし冬に備えます。落葉前のひとときどんな色を見せてくれるのでしょうか。

今年は12月31日が冬至の末候、雪下出麦（ゆきわたってむぎのびる）。雪の下で麦が芽を出すころとされます。ムラサキケマンも優しい緑の葉をだしています。秋から冬へと森はまた忙しく春とは違った変化をし、静かな季節を迎えます。

おすすめの
取組み

いきものふれいの里植物画
新作原画展を
開催します。

11/14～12/28 まで約30点の植物画展。
本邦初公開、是非いらして下さい。

所沢市民フェスティバルで
イベントを
行います。

10/28、29 所沢航空記念公園にて
『狭山丘陵 森の図書館』を開催します。

狭山丘陵
出前講座を
ご利用下さい。

狭山丘陵の動物や植物のことを多くの方に
知って頂きたいと思い企画しております。

